

国民体育大会空手道競技における選手選考基準

神奈川県空手道連盟 技術委員会 強化部会

1. 一次選考（神奈川県強化選手認定・関東ブロック大会・関東選手権大会選手選考）

- ① 神奈川県空手道選手権大会 兼 国民体育大会神奈川県予選会の結果から、関東ブロック大会・関東選手権大会出場選手を選考する。（別紙1参照）
- ② 神奈川県空手道選手権大会 兼 国民体育大会神奈川県予選会の結果から、各カテゴリー別に神奈川県強化選手を認定する。

成年	組手	男子	-60kg、-67kg、-75kg、 -84kg、+84kg	ベスト4
		女子	-50kg、-55kg、-61kg、 -68kg、+68kg	ベスト4
	形	男子	—	ベスト4
		女子	—	ベスト4
少年	組手	男子	—	ベスト8
		女子	—	ベスト8
	形	男子	—	ベスト8
		女子	—	ベスト8
団体	形	男子	—	優勝
		女子	—	優勝

なお、大会を欠場した選手が全日本空手道連盟ナショナルチーム事業や新型コロナウイルス感染など、明確な理由があり過去の実績を考慮して、強化部会が准強化選手として認めることがある。

- ③ 関東高等学校空手道大会神奈川県予選会、および全国高等学校空手道選手権大会（インターハイ）神奈川県予選会の結果から、神奈川県強化選手を認定する。

少年	組手	男子	—	優勝・準優勝
		女子	—	優勝・準優勝
	形	男子	—	優勝・準優勝
		女子	—	優勝・準優勝

2. 二次選考（国体選手選考会）

神奈川県強化選手（准強化選手含む）から各カテゴリー別に以下の手順で、国体出場選手を決定する。

- ① 組手は成年・少年別に組手試合を行い。関東空手道選手権大会の出場選手および強化部会推薦の強化選手から、国体のカテゴリー別の出場選手を選考する。
- ② 国体出場選手（組手）は、二次選考会選考委員（県連会長・理事長・強化部会長・副部会長・部会員）の承認を持って決定する。

【別紙 1】 関東ブロック大会・関東選手権大会選手選考について

- ・ 組手団体戦は関東大会出場の一般の選手から選考会を行う。(関東大会に少年(高校生)は選考しない。ただし、全日本選手権の選考会は対象にする)
- ・ 前年度の大会結果および前年度・今年度の全空連ナショナルチーム所属を考慮し、事前に選考候補選手を認定しておき、選考候補選手が神奈川県空手道選手権大会で選考されなかった場合、当日に選考会を行う。
- ・ 選考候補選手の認定基準。

1	全日本体重別選手権大会	組手個人戦	ベスト 4
2	関東空手道選手権大会	形・組手個人戦	優勝・準優勝
3	国民体育大会	形・組手個人戦	ベスト 4
4	全日本空手道選手権大会	組手個人戦	ベスト 8
		形個人戦	出場選手
5	全国高等学校選手権大会	形・組手個人戦	ベスト 4
6	全国高等学校選抜大会	組手個人戦	優勝・準優勝
		形個人戦	ベスト 4
		形団体戦	第 3 位までのチーム
7	関東高等学校選手権大会	形・組手個人戦	優勝・準優勝
8	関東高等学校選抜大会	組手個人戦	優勝
		形個人戦	優勝・準優勝
9	全日本学生選手権大会	形・組手個人戦	ベスト 8
10	関東学生選手権大会	形・組手個人戦	ベスト 4
11	前年度全空連ナショナルチーム (ジュニア含む)		
12	今年度全空連ナショナルチーム (ジュニア含む)		
13	強化部会推薦		

- ・ 今年度全空連ナショナルチーム (ジュニア含む) は、神空連が認めた場合のみ関東個人戦・団体戦に選考する。
- ・ ただし、階級を変更した場合、選考候補選手の認定を失う。
- ・ 関東ブロック大会は必要に応じて当日選考会。関東選手権大会は形も組手も必要に応じて 2 位の選手と選考会。(内容に応じて決定する)